

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 稲田 勝 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	介護保険低所得者利用負担対策事業	
目的	(1) 対象	低所得の介護を要する高齢者
	(2) 意図	必要な介護サービスが受けられるようにする。
事業概要	障害者ホームヘルプサービス事業を利用していた低所得の障がい者等の利用者負担を軽減し、訪問介護サービスの継続的な利用の促進を図るため、市町村に対して補助金を交付する。 また、生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減に取り組みやすくするために、軽減を実施する社会福祉法人等に市町村を通じて補助金を交付する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業市町村取り組み率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 事業実施市町村数/県内市町村数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	18,517	19,462
うち一般財源 (千円)	6,173	6,488

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基じた現状)

- 平成20年度から全市町村で取り組まれるようになり継続している。
- 社会福祉法人利用者負担軽減措置の対象者 H27実績 847人
- 軽減措置実施事業所数 H27年度末：100カ所

6. 成果があったこと (改善されたこと)

低所得の支援策として不可欠な取組みであり、全市町村で取り組まれた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

社会福祉法人の利用者負担軽減措置は法人の意向によるものであり、実施されない可能性もある。

②困っている状況が発生している「原因」

制度上、法人の負担も求めるため法人の意向によることとなる。

③原因を解消するための「課題」

社会福祉法人において、確実に実施されるよう市町村と連携して事業の周知に努める。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

継続して取り組まれるよう、市町村と連携して制度の周知等に努める。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)